

2010 年度特定共同研究申請書

1.応募領域（丸を付けてください） 古代史料領域 中世史料領域 近世史料領域 <u>海外史料領域</u> 複合史料領域
2.申請課題名 ロシア科学アカデミー東洋古籍文献研究所所蔵サハリンアイヌ交易帳簿の研究
3.申請者 (所属部門・職名・氏名) 画像史料解析センター・教授・保谷 徹
4.所内共同研究者 (所属部門・職名・氏名) 近世史料部門・助教・小野 将 近世史料部門・助教・松澤裕作
5.希望する研究期間 2010 年度～ 年度 (1 年間)
6.課題の概要(400 字程度) (この項は広報等に利用・掲載することがあります) ロシア科学アカデミー東洋古籍文献研究所（旧東洋学研究所、サンクトペテルブルグ市）には、19 世紀初頭に日本人商人とサハリン島のアイヌとの間でおこなわれた交易の帳簿が保存されている。「大福帳」と「簾貸帳」と題された日本語の横帳 2 点である。いずれも文化 2（1805）年から翌年にかけて、サハリン（カラフト）のクシュンコタン番屋で作成・保管されたものであり、1806 年、レザノフの部下フヴォストフらの襲撃によってロシア側へ持ち去られたものと考えられる。本研究では、アイヌ交易研究に詳しい関係研究者を募って帳簿の正確な解読・翻刻と分析をおこなうとともに、東洋古籍文献研究所との覚書にしたがい、ロシア語への翻訳作業を支援して史料集としての出版を目指す。また、ロシアから研究者を招聘して国際研究集会を開催し、サンクトペテルブルグ市において帳簿の原本調査および 19 世紀初頭の北方紛争関連史料の調査・収集をおこなう。
7.研究の目的(400 字程度) 本研究はロシア所在日本関係史料収集事業の一環に位置づけられ、ロシア科学アカデミー東洋古籍文献研究所が所蔵するサハリンアイヌ交易帳簿：「大福帳」（約 400 丁）・「簾貸帳」（約 120 丁）の帳簿 2 点の正確な解読・翻刻と分析をおこない、ロシア語への翻訳作業を支援して史料集として出版する準備をおこなうことを目指す。帳簿には、日本人商人とアイヌらとの間でおこなわれた鯡・鯨などと日本酒・たばこなどとの交易の様子が記されており、同地における交易実態を知る貴重な史料である。また、帳簿がロシア側に所在する経緯を調査し、19 世紀初頭の北方紛争関係史料の調査・収集をおこなう。とくにオホーツクでおこなわれた接收品のオークションや接收品そのものについて詳しいロシア側研究者を招聘し、国際研究集会を開催して、帳簿と 19 世紀初頭の北方紛争関連史料についての総合的解明をおこなう。

8. 共同利用・共同研究として進める意義と期待される研究成果(400字程度)

研究対象とする帳簿2点は、現在知られている和人とアイヌとの交易帳簿としては最も古く、かつカラフトでは唯一のものであり、その史料価値はきわめて高い。すでに2009年度には先行研究で翻刻作業や概要把握につとめており、本研究ではさらに正確な解読・翻刻・分析を目指し、アイヌ交易研究を専門とする研究者の協力が必要である。またこの研究成果を史料集として学界へ提供できれば関係分野への大きな貢献となる。さらに、帳簿の原本調査や周辺史料の調査、とくにロシアとの北方紛争の際に接収された物品に関する調査を行うことによって、近世後期の日露交渉史にも大きく貢献することが可能である。この際、ロシア語に堪能な日本史研究者を共同研究者として迎えることも欠かせない。本帳簿の研究に関しては、足掛け7年間の交渉を経て、ロシア科学アカデミー東洋古籍文献研究所との間で研究着手に合意を得、共同研究の覚書を交わしたものである。ロシア側の研究分担者であるワジム・クリモフ教授（サンクトペテルブルグ国立大学）が担当するロシア語翻訳の成果は、ロシアにおける日本学・日本史研究の進展にとって大きな意義をもつものとなると期待される。

9. 研究の実施計画

- ①帳簿の解読・分析：1年掛けて帳簿の正確な解読と分析につとめる。必要に応じて適宜国内研究会を実施する。
- ②ロシア語翻訳：クリモフ教授が分担するロシア語翻訳を支援する。国際研究集会開催に合わせて同教授を招聘し、共同研究に従事し翻訳助言の機会を設ける。
- ③国際研究集会の実施：2010年5月に予定される国際研究集会（史料編纂所・日本学士院共催予定）へロシア側研究者を招聘し、関連史料に関する報告を依頼する。同研究会の経費は保谷科研等と分担する。現在、北方紛争の際の接収品やリストに関し、クンストカメラ（ロシア民俗博物館）のシニーツィン上級研究員の招聘を予定。
- ④サンクトペテルブルグ出張調査：ロシアでの原本調査・関連史料調査を実施する。保谷科研の調査と連携し、サンクトペテルブルグ市へ出張し、ロシア科学アカデミー東洋古籍文献研究所（原本調査）、ロシア国立歴史文書館・同海軍文書館・クンストカメラ等の史料調査をおこなう（2010年7月ないし9月を予定）。
- ⑤出版準備：史料画像（影印）・日本語解読・ロシア語訳文などからなる史料集の刊行準備をおこなう。

10. 研究成果の公開計画

- ①研究集会での成果発表・研究紀要での成果発表
- ②史料集の出版（準備）

11. 共同研究員にもとめる役割

- ①研究集会への参加
- ②帳簿の解読・翻刻・分析の分担、ロシア語訳作成への助言
- ③ロシアでの原本調査・関連史料調査への参加